



令和5年6月号 Vol.66
情報メディア教育センター

雨の名まえ

6月は北海道を除く多くの地域で梅雨入りし、雨降りの日も多くなりますね。さて雨には季節や降り方によって様々な呼び名がついているのをご存知ですか。初夏から夏にかけて降る雨の名まえをいくつか紹介すると…

- 穀雨【こくう】穀物や草木を潤す恵みの雨
 - 青葉雨【あおばあめ】新緑のころに降る雨
 - 酒涙雨【さいるいう】七夕に降る雨
- どれも美しい名まえですね。



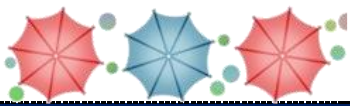
大塚が読めない本は **みんなが読みたい・説**

みなさん、こんにちは。EMC司書の大塚です。うすうす感じてはいたんですが、私が面白いと思う本とみんなが好きな本は、もしかしたら180°違うかもしれない。例えば「ブックハンティング」なんかで選ばれた本はおそらくみんなの大好きな本。だけど、全部ではありませんが、読めない本が何冊かあるのは事実。だったら、そんな本を集めて展示してみようか…。きっとみんなの大人気コーナーになるのでは?! ということで、どんな本が読めないのか、以下のようにまとめてみました。

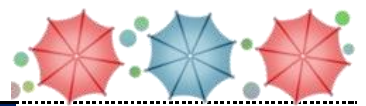
- ☑ **ほぼセリフだけが連なった「セリフ系」の本はきらい。**⇒心理描写や情景描写がないのは味気ない。でもみんなの日常は会話がすべてなんだからそれが普通なのかも。きっとセリフの端々でお互いの心理や状況変化がわかるんだね。ある意味すごい。
- ☑ **「余命〇年」をきっかけに話が盛り上がっていく「余命系」の本はきらい。**⇒涙腺崩壊率100%?それは間違いなくみんなが若いから。今の時間が永遠に続くように思っているけれど、それがあっけなく途切れ、でもその中で精いっぱい生きる、に感動するんだろうな。人生は案外短いということを知ってしまうと「余命」という言葉の意味が薄れてしまうのかも。この年になるといつでも余命〇年なんですけど。
- ☑ **あり得ない「転生系」はきらい。**⇒誰これ?ここどこ?これいつ?となってしまうから。でも考えてみれば「タイムスリップ」や「入れ替わり」の話って昔からあって、人気ドラマになっていた。小学生の頃、「タイムトラベラー」夢中で見ていたけど、それが「あり得ないこと」とは思わなかったな。
- ☑ **恋愛、友達、就職、進学諸々、展開が軽くて速い「学園系」はきらい。**⇒自分が中高生の頃はスマホもなーんにもなかったから、こんなにさっさと事は進まなかったな。みんなにとってはこのスピード感があたりまえなのかもしれないね。

ここにきて「やっぱり読めないのは世代の違いなんだよ」という「仕方ない説」に至った感がありますが、まあ「セリフ系」、「余命系」、「転生系」、「学園系」で本を展示してみました。よろしければ見に来てくださいね。(大塚)





新着図書ピックアップ



『ぼんぼん彩句』

宮部みゆき【著】

著者・宮部みゆきと言えば絵本から時代小説まで、幅広いジャンルで活躍している作家。宮部さん曰く「凡凡」なまなざしで創作を続けていきたい…ということですが、中身は全然「凡凡」じゃないです。この作品は、12の俳句をそれぞれ物語にした短編集。表紙も明るく、タイトルの響きも「ぼんぼん」とかわいらしい印象なので、明るく楽しいお話ばかりと思いきや！読んでみてビックリ！精神的にじわーと効いてくるような結構なホラー作品も含まれています。色々なテイストを楽しめる全く「平々凡々」ではない一冊です。(矢田)



『ひとこと化—人を動かす「短く、深い言葉」の作り方』

坂本 和加【著】



「からだにピース。」「WAON」など記憶に強く残る言葉を生み出すコピーライターの著書。ステキな言葉は、どんな思考で思いつくだろう、すごい技術があるのかと思っていましたが、想像していたよりもっとシンプルでした。印象的だったのは、コピーライティングは「ほめる」仕事、ネガティブをポジティブに変換していくということ。“コンプレックスは強みだよ” “怒ってる顔っていいよね” など。そして、自分と向き合って言葉を紡ぎだしていくことは、頭がすっきりする感覚になり自己肯定感まであがるそうです。言葉を考えるヒントだけでなく、日々を前向きに過ごすコツも教えてもらえた本でした。気持ちよく読めました。(大原)

『三省堂国語辞典から消えたことば辞典』

見坊 行徳/三省堂編修所【編著】

本書は昭和 27 年から 80 年にわたる計 9 回の改訂で三省堂国語辞典から削除された言葉を集めた辞書。厳選された 1000 語が収録されている。「切手収集」「コギャル」「メインイベント」「ながら族」など次々に出てきて懐かしい。自分が使わないままにひっそり削除された言葉を今さらながら知ったり、挿絵も多く結構楽しめた。三省堂国語辞典では「一般の人たちの生活語彙として、広く使われている言葉かどうか」が「消す」と「残す」の分かれ目らしい。国語辞典は今現在、日本語を使う人のためのもの。時代に寄り添い改訂のたびに言葉は取捨選択される。平和を愛する初代編集主幹が「もう軍靴が響く時代ではない」として早々に削除した「軍靴」という言葉、再掲されている。(大塚)



新着ピックアップは毎月、司書が「これはぜひ読んで！」と思う本を選びすぐってお届けします。

上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。

他人の読んでいる本が気に入るようになってきた

藤崎一臣の本、読んでいこう！ vol.60

『変な家』 雨穴【著】



6月の開館予定

6月		
1	木	8:10-17:50
2	金	8:10-17:50
3	土	休館
4	日	休館
5	月	休館/蔵書点検
6	火	休館/蔵書点検
7	水	休館/蔵書点検
8	木	休館/蔵書点検
9	金	休館/蔵書点検
10	土	休館
11	日	休館
12	月	8:10-17:50
13	火	8:10-17:50
14	水	8:10-17:50
15	木	8:10-17:50
16	金	8:10-17:50
17	土	休館
18	日	休館
19	月	8:10-18:50
20	火	8:10-18:50
21	水	8:10-18:50
22	木	8:10-18:50
23	金	8:10-18:50
24	土	休館
25	日	休館
26	月	8:10-18:50
27	火	8:10-18:50
28	水	8:10-18:50
29	木	8:10-18:50
30	金	8:10-18:50

先月、散々ミステリー小説を否定してしまいましたが、あろうことか2ヶ月連続でミステリー小説を紹介することになりました(^^♪

ミステリー小説は二度と読まない！と言ったにも関わらず、本書はついつい夜更かししてまでの一気に読み(*_*) 先回の『#真相をお話します』は短編小説であったため、数日かけての読了でしたが、『変な家』では登場人物がたくさん出てきますので、頭の中に相関図を描きながら読み進める必要があります。そのため、一気に読みをオススメします。ていうか、オススメをしなくても間違いなく一気に読みしちやいますよ！「次の展開が気になって仕方ない…」早く次の展開を知りたい！となる作品です。

先月の発言を完全撤回！ミステリー小説、面白いです＼(^o^)/

ちなみに、この本書の著者の雨穴（うけつ）さん、千と千尋の神隠しのカオナシを不気味にした仮面を被ったちょっと不気味な WEBライター・YouTuber であります。

中でも、本書の出版のキッカケになった YouTube に投稿した動画『【不動産ミステリー】変な家』はバズりにバズって、約 1300 万回再生されています。その後、この動画をもとに加筆を加えた作品がこの『変な家』。また、売り上げは 55 万部を突破し、来年春に映画化も決定している大ヒット作品であります。

私は、動画の存在を知らず、本書を先に読みましたが、YouTube で動画を見てから本書を読んでも面白いかもしれません。

1300 万再生もされている動画なので、すでに見たことある人多いかもしれませんね。

YouTube の QR コードを貼っておきますので、興味のある方は見てください。絶対、その続きが気になって本書を手取るはずですよ。



最後にちょっと本書のあらすじを、知人が購入を検討している都内の中古一軒家。開放的で明るい内装の、ごくありふれた物件に思えたが、謎の空間、窓のない子供部屋など不可解な「間取り」になっていて、その謎を追った先に見たものとはいったい…。

先が読めない作品は面白い！！



第47回 坂崎 恭平先生おすすめ 『日本人のための世界史入門』

小谷野敬【著】

この本では、世界史の史実を作者の愚痴を交えながら学ぶことができます。先日、戴冠式を終えたチャールズ3世について、「チャールズはあまり縁起のいい名前ではないのになぜこの名前をつけたのだろう」という一言が印象的でした。日常の中の世界史に関するものについて知ることができます。例えばアキレス腱ってなぜこのような名前なのか思ったことありませんか？

最後に、本のタイトルに世界史の入門とありますが、全然入門ではありませんので注意です。

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンはどうなかに渡るかな？



「それなっ！」

短歌



6月です。ジメジメするこの季節。今回の特集は「それなっ」短歌です。短歌というと小難しいイメージですが、今回集めたのは現代短歌。現代短歌は、古典と違ってわかりにくい単語とか、面倒くさいものが一切でてきません。普段使っている言葉、31文字で完結です。

「本当はメロンが何かわからないけどパンなりにやったんだよね」

『短歌のガチャポン』穂村 弘/[編]著,Melinda Paino/[画] 小学館 2022.12

最近のメロンパンは果汁が入っていたり、高級感漂うモノも多いですが、これは完全に、袋に入ったコンビニで売っている普通のメロンパンのことですよ。

何がメロン?ちょっと不思議に思っている、そのままスルーしていた案件です。



わざわざ言葉に出して誰かに伝えたこともないけど、心の中で思った、そんな日常のあるあるをスパッと切り取って目の前に広げてくれるのが短歌です。あ〜こんな風に思っていたのは自分だけじゃないんだ〜という安心感・嬉しさ・面白さ等、いろいろな感情がジワリと湧いてきます。読みながらニヤニヤしたり、大爆笑だったり、ちょっとしんみりしたり・・・。

どこから読んでも、どこで読み終えても全て完結。

パッと見て1〜2行! だけど、「それなっ」と自分の気持ちにピタっとはまったときの爽快感!! ジメジメが吹き飛ぶとこ間違いなしです。

「グローブのかたちの雲にいちやく気付く万年二軍の補欠」

『オールアラウンドユー』著・木下龍也 ナナロク社 2022/10/7

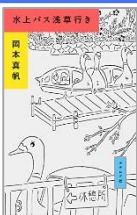
万年二軍補欠だから気付くのか、気付くから万年二軍の補欠なのか・・・非常に難しい問題です。さあ、どっち。



「犬だけがただうれしそう脱走の果てに疲れた家族を前に」

『水上バス浅草行き』著・岡本真帆 ナナロク社 2022/3/21

最初に来るのは安心感でしょうか? 思わずその光景を思い浮かべて、プツンとなってしまいます。ご家族の方、本当に、本当にお疲れ様でした・・・



図書館からのお知らせ

- 6/5(月)~6/9(金)まで蔵書点検を実施します。完全閉館(立入禁止)です。
- REUSE BOOK FAIR を開催します。開催期間: 7/5(水)~7/13(木) 無料!! 早いもの勝ち!! 場所は EMC2階です。



雑誌のバックナンバー
差し上げます!!

編集後記 電車で短歌の本を読んでいて思わず吹き出してしまいました。周りからみたら変な人ですが、久しぶりに大笑いしてしまいました。



初めての
図書だより
作成でした。